

## 看護実践能力に繋がるリンパ浮腫ケア演習の意義 —成人看護学領域の検討—第1報

新潟医療福祉大学看護学科  
近藤浩子

### 【背景】

平成20年度診療報酬改定後、リンパ浮腫指導管理料が採択された結果<sup>1,3)</sup>、臨床では、がん術後早期からのセルフケア指導や生活指導を積極的に実施し、リンパ浮腫の悪化予防及び患者のQOLの維持を推進していくことが求められている。しかしながら、二渡ら<sup>4)</sup>の調査によると、予防ケアの実施設率は、4.3%、リスクの高い患者への実施は43.5%、浮腫発症患者に対するケアは、専門外来において8.6%であることを示し、リンパ浮腫ケアの専門支援体制の脆弱さを指摘している。加えて、現状は医療者の自助努力で実施されていると述べた。このことから、比較的新しい分野でもあり、卒業後、ジェネラリストナースとしてのリンパ浮腫ケアは、4年次生において、リンパ浮腫を持つ患者の看護として予防の観点から看護実践に繋がる必要不可欠な基礎知識であると考えた。

リンパ浮腫ケアは、複合的理学療法 (Complete Decongestive Therapy)、といわれ、スキんケア、医療徒手リンパドレナージ、圧迫療法、運動、を示す<sup>1,2)</sup>。今回の報告は、第1回の質問紙調査の報告である。質問紙調査は、看護実践能力に繋がるリンパ浮腫ケア演習の意義を明らかにすることを目的として実施した。

### 【方法】

対象：リンパ浮腫ケア演習を選択した看護大学4年次生12名。2. 調査期間：2012年10月26日。3. 研究方法：1) データ収集方法：演習終了後、質問紙調査を実施した。調査は、(1) 参加動機を複数回答する (2) 演習後の学びを3択する (3) 感想・意見を自由記述とする、という3つの内容で行った。(1)(2)の分析方法は、単純集計とした。(3)は、自由記述されたものを抽象化し、類似した意味内容をカテゴリー化した。2) 倫理的配慮：学生には、研究の趣旨を口頭で説明し、回答は自由意思であり質問紙の提出を持って同意の意思とみなすこと、成績評価とは関係がない旨を説明し承諾を得た。記入者が特定されないように、質問紙は無記名とした。

### 【結果】

対象者12名のうち100%の回答を得た。参加動機は、「以前からリンパ浮腫に興味があった」6名(50%)、「実習でリンパ浮腫患者を受け持ったから」5名(42%)、「リンパドレナージを学びたかった」4名(33%)「がん看護に興味があったから」3名(25%)、「その他」1名(8%)であった。演習後の学びは、「大変そう思う」を示す項目は、「複合的理学療法の基本的手技を体験できた」10名(83%)であった。「概ね

そう思う」が半数以上を示す項目は、「リンパ浮腫について理解できた」9名(75%)、「複合的理学療法の基本的手技を理解できた」9名(75%)、「複合理学療法を将来学んでみたいと思った」8名(67%)、「リンパ浮腫に対する複合的理学療法の効果を理解できた」8名(67%)、「がん看護の興味が深まった」7名(58%)、「リンパ浮腫を持つ患者の実際を理解できた」7名(58%)、「そう思わない」は無回答であった。自由記述から、学生は、体験を通して【圧迫療法の理解】や【リンパ浮腫を持つ患者の理解】に努めた。また、4年次生として、〈修得知識の実践活用への志〉を持ちく自己の課題に気づくことができた。さらに、〈実習の想起〉の機会を得て【将来の看護実践の志】へと繋がった。

### 【考察】

学生は、主体的に参加し、将来の看護専門分野に興味関心を示し、将来の看護実践をイメージしていると考えた。体験を通し、圧迫療法そのものと患者がどのような思いでケアを受けているのか理解を深め、共感の必要性を見出していた。がん看護や慢性期看護における将来に向けた看護実践を意識づけられ、この演習は意義があるといえる。一方で、リンパ浮腫ケアとしての複合的理学療法を、十分に認識されていないことが明らかになった。その理由は、リンパ浮腫ケアには、マッサージなど簡便な方法で行うと捉えがちであること、またリンパ浮腫患者の実際の理解は、臨地実習で受け持ち患者を持った学生はイメージしやすいが、他の学生は、限界があることが考えられた。

### 【結論】

- 1) 学生は、主体的な動機をもち、圧迫療法とリンパ浮腫を持つ患者について理解を深めていた。
- 2) 確実な看護実践の必要性の意識づけと学生個々の課題が見出され、将来に向けた看護実践への志を高めることができた。
- 3) ジェネラリストナースとしてのリンパ浮腫ケアの基礎知識を構築する授業内容の工夫の必要性が示唆された。

### 【文献】

- 1) 佐藤佳代子：リンパ浮腫の治療とケア，第2版 医学書院，東京，2010。
- 2) 増島麻里子：リンパ浮腫ケア。がん看護，13(7)pp685-691，2008。11月12日
- 3) 廣田彰男，佐藤佳代子：乳がん・子宮がん・卵巣がん術後のリンパ浮腫を自分でケアする，主婦の友社，東京，2012。
- 4) 二渡玉江，樋口友紀，中西陽子ら：がん手術治療に伴うリンパ浮腫ケアの現状に関する全国調査，Kitakanto Medical Society 59，pp33-42，2009。